

神奈川県立相模原支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和7年度 神奈川県立相模原支援学校 第2回学校運営協議会	
開催日時	令和7年7月25日（金）9:10～12:00	
開催場所	相模原支援学校 実習棟 2階 縫製室 防災訓練会場（体育館）	
出席者	学校運営協議会委員7名（3名欠席）、本校職員：事務局12名	
次回開催予定日	令和7年10月14日（火）を予定	
問合せ先	神奈川県立相模原支援学校 副校長 蒲原 泰広 電話 042-778-0818 FAX 042-778-4957	
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由
審議・会議経過	<p>1 会長・校長挨拶 2 本日の日程について説明 3 防災訓練への参加 4 切れ目ない支援部会 • 訓練の振り返り • 訓練についてのご意見・ご感想</p> <p>委員より以下の意見をいただいた。</p> <p>⇒今回の訓練は、一般的な高校の訓練と比べても非常に丁寧に実施されており、特に指示後の確認作業に緊張感を持って取り組んでいた点が印象的であった。</p> <p>⇒訓練が予定通りに終了したことに感心した。集合方法は一列よりもまとまりを持たせた方が良いのではないか。実際の災害時には声が届きにくくなるため、プラカード等を用いて行動を視覚的に示す工夫が必要である。備蓄品は人数分を表示すると教職員が動きやすくなる。仕切りカーテンによるプライバシー確保には課題がある。</p> <p>⇒在校生や地域住民を対象に、引き渡しまで含む高度な訓練であり、疑問点を振り返り、すぐに行動に移せる姿勢に真剣を感じた。教職員が避難所の運営を担っていることを知り、学校だけでなく地域や企業も災害時に何ができるかを考えていく必要がある。</p> <p>⇒情報伝達は非常に重要であり、トランシーバーだけでなく現場に直接赴いて伝えるなど、徹底した対応が求められる。実際に児童がいる状況では、さらに混乱が予想される。備蓄品は最低限揃っていたが、テントや段ボールなどの充実が望ましい。福祉避難所として必要な備蓄品は十分ではなく、区と連携した備蓄品整備や搬入体制の確認が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒防災訓練は年2回実施しているが、1回ですべてを網羅できるわけではない。特に「福祉事業所としてどこまで機能できるか」という課題があり、地域住民が避難してきた際に「一時避難所だから」と断れるのかという点に懸念がある。 ⇒動けない生徒への対応は日頃から行っており、教員による応援体制や搬送など、具体的な場面を想定した訓練を重視している。 ⇒福祉避難所に関しては、地域との確認が十分ではない。鍵の管理を含め、事前の協議が必要である。 	

	<p>⇒区との連携が進んでいない印象があり、「発災から数日後に対応」という形では地域からの信頼を損ねる可能性がある。迅速な確認が求められる。</p> <p>⇒他市では外部に防災倉庫が設置されている例もあるが、相模原市ではなく驚きがあった。避難経路の判断や火災発生時の対応は、迅速かつ安全であることが求められる。</p> <p>⇒防災訓練の振り返りはどのように共有される予定か。</p> <p>⇒各班で集約し、班からたたき台を提示する予定である。</p> <p>⇒訓練の振り返りを班ごとに集約すると、重要な点が抜け落ちる可能性がある。マニュアルに依存するだけでなく、現場での判断力を養うことも必要である。</p> <p>⇒マニュアルの整備と臨機応変な判断の両立が重要である。</p> <p>⇒防災には「火災・風水害・人災」など多様な種類がある。訓練の際には「今回は人災を想定する」など、目的を明確にした全体計画があると望ましい。学校として防災をどのように捉えているかを示すことも重要である。また、東日本大震災の際にミサイルの飛来も懸念された経緯があり、そのような事態も防災の一環として考えておく必要がある。災害として認識しなければ対応できず、児童を守ることはできない。</p> <p>⇒国レベルの大規模災害対応まで学校に求めるのは適切ではない。学校に一方的に責任を負わせるのではなく、運営協議会のメンバーが地域と共に「何ができるか」を考えることが重要である。教職員をどう支援するか、地域としてどう動けるかを議論していくべきである。</p> <p>⇒これまで福祉避難所に関しては学校任せになっていたと感じる。今後は学校と地域が協力しながら、共にできることを考えていく姿勢が重要である。</p> <p>⇒分教室と本校、また橋本高校との連携や連絡手段についても、事前に検討しておく必要があると感じている。</p> <p>⇒相模原市や教育委員会との連携をどう図るか、運営協議会としての一歩をどう踏み出すかが問われている。学校として今回の訓練を整理し、それぞれの立場でできることを共有し、協力して取り組んでいくことが求められる。</p>
会議資料	<p>5 事務連絡 次回第3回学校運営協議会は10月14日（火）開催予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度第2回「学校運営協議会」開催要項 ○令和7年度 防災訓練実施計画 ○令和7年度 防災訓練実施計画 詳細版 ○進路支援の充実に向けた地域との連携について

